

本書はハムフェア 2023 で頒布した QRP 無線機用制御基板に関する説明となる

秋月電子通商の SKRHAAE010 (P- 14676)を実装するための基板になる

C1,R1 は汎用的な基板にするため、分圧する元になる抵抗用なので実装しない

(下図で灰色でマークしたところは未実装)

R2～6 は 1/4W タイプの抵抗を実装する

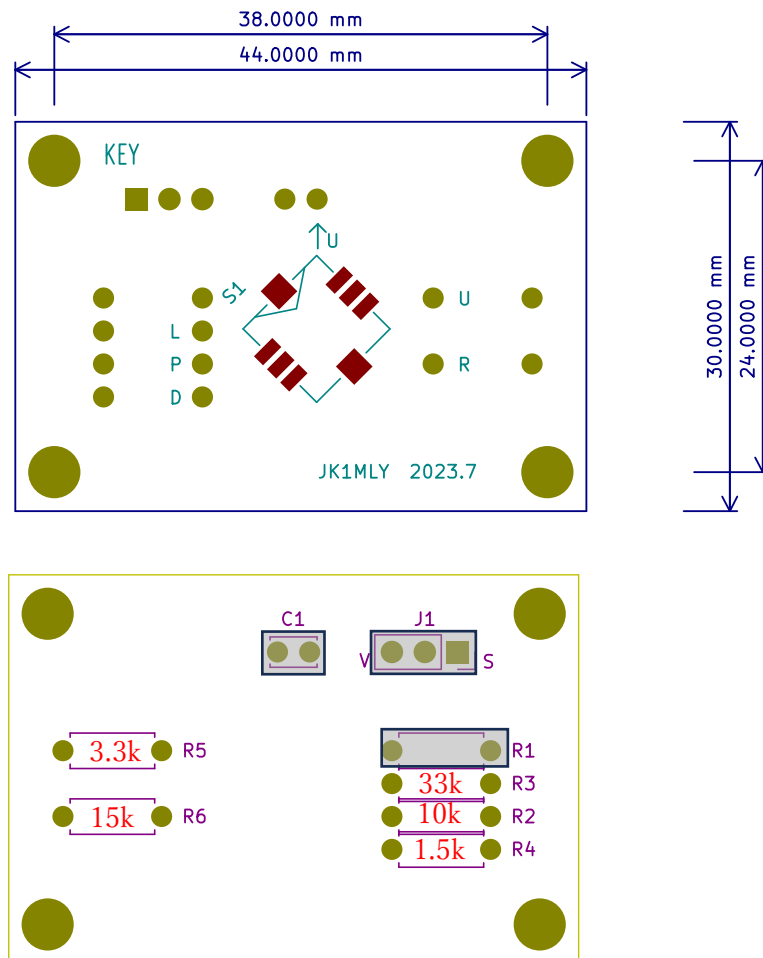
(抵抗で分圧されて出てくる電圧を PIC で読み出して押されたキーを判断)

J1 はピンヘッダ(C-00167)を付け、本体とコネクタ付ケーブル(C-15868)で接続する

ソフトからリセットしたい場合は R2 ではなく R3 をジャンプ (R2 はプルアップ代わりの接続)

秋月のキット(K- 15233)を使う場合は、回路図と同等になるようユニバーサル基板で組む

タクトスイッチの組み合わせで作る場合も同様 (抵抗値さえ同じなら良い)



基板回路図、パターン (KiCAD)

<https://github.com/jk1mly/pcb-key>